

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
EU41C303		学校危機管理の理論と実践研究(Practical Research on Risk and Crisis Management in Schools)					高度専門科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	1	教育学研究科	後期		氏名 熊丸真太郎、渡邊英樹 E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp 内線 7550											
授業の概要	学校危機に関する知識や学校危機管理の原理、高信頼性組織としての学校づくりについて理論的に学ぶとともに、学校現場の事例を題材とした演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、危機管理の側面から学校経営の在り方を具現化する能力を養う。 また、現在の勤務校等を題材とした学校安全計画や危険等発生時対応要領(危機管理マニュアル)の策定・改訂に関する双方向的な演習に取り組むことで、実践的な力量を構築する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	学校危機管理、高信頼性組織等に関する基本的な理論を説明できる																
目標2	学校安全計画や危険等発生時対応要領(危機管理マニュアル)の策定・改訂のあり方を説明できる																
目標3	学校現場の事例を題材として危機管理に関する現状を分析できる																
目標4	危機管理に関する勤務校等の課題を発見することができる																
目標5	発見した課題を解決するための具体的な対応策を立案・検討することができる																
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 学校安全計画 1：学校安全計画・危機管理マニュアル																	
2 学校安全計画 2：災害安全・自然災害																	
3 学校安全計画 3：生活安全・不審者対策																	
4 教育活動中の生徒事故 1：生徒事故はなぜ起こるか(学校事故対応の理論)																	
5 教育活動中の生徒事故 2：学校事故の未然防止																	
6 教育活動中の生徒事故 3：学校事故の対応																	
7 いじめの対応 1：いじめはなぜ起こるか																	
8 いじめの対応 2：いじめの対応																	
9 いじめの対応 3：いじめをどう防ぐか																	
10 教職員の非遵行為等 1：非遵行為総論																	
11 教職員の非遵行為等 2：非遵行為の根絶 1：体罰を中心に																	
12 教職員の非遵行為等 3：非遵行為の根絶 2：労働安全衛生、働き方改革																	
13 授業のまとめ 1：学校危機への対応																	
14 授業のまとめ 2：学校危機への対応の改善																	
15 授業のまとめ 3：学習成果の発表																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	時間外学修(宿題),調べ学修(文献,インターネット),プレゼンテーション,ディスカッション(ガイド付き・フリー),事例研究,ロールプレー(机上訓練)					工夫	その他の									
ラーニング	B:意見の表現・交換																
ラーニング	C:応用志向																
ラーニング	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	立案した方策等のプレゼンの準備をする(10h)															
	事後学修	授業で学習したことを整理し,獲得した知識等の定着を図るとともに獲得した知識等を用い,課題解決の方策を考える(15h)															
教科書	教科書は指定しない。授業中に配布するプリントや小冊子を使用する。																
参考書	大分県教育委員会『服務研修テキスト』2021年、ISBN無 文部科学省『「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育』東京書籍、2019年、ISBN9784487813063 文部科学省『学校の危機管理マニュアル作成の手引』2018年、ISBN無																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%															
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%															
注意事項	本授業においては、擬似的に教員集団を組織するという側面もあるので、院生同士の双方向のコミュニケーションに努めること。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。																
備考																	
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	渡邊英樹（小・中学校，教育委員会事務局）
実務経験を いかした教 育内容	小・中学校長及び教育事務所長としての実務経験をもち、学校現場や教育行政における危機管理に関する事例と対応、その在り方と実際について授業を行う。